太陽っ子

かしこく　やさしく　たくましく

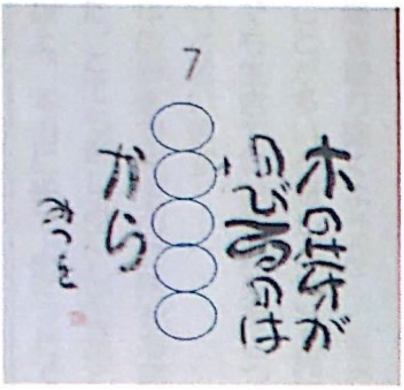
大野小学校
学校だより
№１０
文責　前田

後期後半のスタートです。

冬休み明けの1月7日㈫から後期後半が始まりました。令和2年は、学校では教育内容や指導の在り方を規定した学習指導要領が改訂されて全面実施となります。さらに、オリンピックイヤーでもあります。祝日も例年と異なりますので、来年度の予定の計画を作成する際も、大いに頭を悩ませながら話し合いを重ねています。子どもの成長を第一に考えて、来年度の準備を進めているところです。

さて、最初の集会では、7日にちなんで「今日は何の日か」聞いてみました。子どもたちからは**「七草がゆ」**とスムーズに出てきてびっくりしました。朝食に食べた子もいて、お子さんの健康を願ってご家庭でつくられたのだなあと愛情を感じたところでした。昔から伝わってきたことは、必ず意味があります。そこに、人々の願いがこめられています。大切にしていきたいですね。

もう一つ7日にちなんで、日めくりカレンダー（詩人相田みつを）の詩を取り上げました。その詩は左のとおり短いですが、とても深い内容です。さて、〇の中には、どんな言葉が入るか聞いてみました。全校集会で全児童の前でも挙手して、自分の考えを発表する子が何人もいます。素晴らしいことです。



ある1年生は**「あめがふるから」**と発表しました。ちゃんと5文字です。よく考えています。続いて数名の児童が発表してくれましたが、作者と同じ表現はでませんでしたので、**「やわらかいから」**と表現していることを伝えました。

そして、**人の意見を受け入れるやわらかさが大切で、それがかしこくなる秘訣であると**話しました。さらに、**友達関係もよくなり一層仲良く**なれます。

一人一人がやわらかい心をもって、充実した年になることを願っています。

みんな、そろっていただきます

～学校給食週間（20日から25日）～

学校給食が始まった12月24日の一ヶ月後の一週間を全国学校給食週間となっています。本校でも1月20日からの一週間は給食を考える機会としています。22日には、集会を開きました。まず、教頭先生から**「いただきます」**についてのお話があった後、**栄養士の森崎先生から給食センターの仕事の様子や栄養のバランスを考えて食事をとることの大切さ**について話していただきました。給食センターでは、14人の調理員の方が岱明中校区の小中学生と教職員分約千百食分作られているそうです。なんと一人で百人分ほど作ることになりますね。短時間でこれだけの量をつくるだけでも大変ですが、栄養面や味、そしてアレルギー除去等も含めて対応してくださっていることに頭が下がります。

主な子どもの感想

「いきものの命をいただいているので、残さず食べようと思いました。」（1年生）

「給食に感謝をして、毎日、いただきます、ごちそうさま　をきちんと言いたいと思います。」（2年生）

「たくさんの量を3時間でつくっているのにびっくりしました。」（3年生）

「人間のために食べ物になってしまう動物たちへの感謝の気持ちが足りないと思いました。」（4年生）

「栄養バランスや費用まで考えていらっしゃったのでびっくりしました。」（5年生）